



成田山開基
祝
 1080年

第41回 奉納 梅若

成田山蠟燭能

平成30年 **5月19日(土)** ▶ 成田山新勝寺 光輪閣
 4,000円全席自由(団体を除く)
 開場:午後5時 開演:午後6時

主催 大本山成田山新勝寺 <http://www.naritasan.or.jp> 後援 (一社)成田市観光協会 梅成会

チケット取扱い 成田山新勝寺 蠟燭能係 TEL.0476-22-2111 チケットぴあ 0570-02-9999 / Pコード 485-982

「東方朔」

梅若英寿
 梅若美和音

火入れ式

「山姥」

梅若実(人間国宝)
名義改メ

熊本俊太郎

幸正昭

龜井広忠

澤田晃良

「蝸牛」

山本則俊

山本則重

山本則秀

「野守」黒頭天地之声」

梅若長左衛門

梅若紀彰

則久英志

熊本俊太郎

幸正昭

龜井広忠

大鼓

小鼓

笛

山伏

鬼神

野を守老人

成田山蠟燭能

祝 成田山開基1080年

あらすじ

舞囃子 「山姥」

都に、山姥の山廻りの曲舞を作り演じたことから、「百万山姥」という名の人気を博していた遊女がいました。遊女は善光寺参詣を志し、従者とともに信濃国を目指して旅に出ます。急に日が暮れ一同が困り果てているところに、やや年嵩の女が現れて、一夜の宿を貸そうと申し出てきました。実はその女は真の山姥で、自分を題材にして遊女が名声を得た山姥の曲舞を一節語ってほしい、と願い消えます。夜更けに遊女らが舞曲を奏でつつ待つていると、山姥が本来の鬼女の姿となって現れ、自分の境涯を語り、仏法の摂理を説き、さらに真の山廻りの様子を舞いながら、何処へと消えていきます。今春、世梅若実を襲名した人間国宝の美しく静かなる迫力を秘めた舞をご堪能ください。

狂言 「蝸牛」

太郎冠者は主人から伯父の病気を治す薬に蝸牛を取りに行くことを命じられますが、蝸牛を見ることがありません。敷の中で寝ていた山伏は、太郎冠者が蝸牛を探していることを知り、自分がその蝸牛であると言ひ出しますが……

およそ似るはずもない蝸牛と山伏を取り違えるという狂言ならではの大胆な発想、そして太郎冠者と山伏との絶妙な合いの手により自然と心が浮き立ちます。大人子供問わずの人気曲です。

能 「野守―黒頭天地之声―」

古来「野守鏡」と称された曲です。昔出羽国の羽里山から、葛城山へ修験にゆく山伏が、大和国春日の里にさしかかったとき、野の番人である野守の老人が現れます。

山伏が曰くありげな池の名を尋ねると、老人は、この池は自分たち野守が姿を写すので野守の鏡と呼んでいるが、真の野守の鏡は、この野を守っている鬼神が所有する鏡であると話します。さらに老人は、昔帝が狩りの時に見失った鷹が、木の上に止まっている姿が、この池に写ったので見つけ得たことも話します。

山伏は真の野守の鏡が見たいと告げます。すると、老人は鬼神の鏡は見るものではないと塚の中へと入っていくのでした。塚の前で「真の野守の鏡が見たい」と祈る山伏の前に鬼神が鏡を持って現れ、宇宙のすべて天上から地獄の有様のことごとくを映し出す大きな鏡の奇跡を見せた後、大地を踏み破って池の底へ帰っていきます。和歌と題材を得た歌物語の優雅さと鬼の豪快さを融和させた芸術的な香りする世阿弥の名作です。

連吟 「嵐山」梅成会

舞囃子 「東方朔」

梅若英寿
梅若美和音

法楽 火入れ式

舞囃子 「山姥」

梅若実(人間国宝)

笛 熊本俊太郎
小鼓 幸正昭
大鼓 亀井広忠
太鼓 澤田晃良

狂言 「蝸牛」

山本則俊
山本則重
山本則秀

能 「野守―黒頭天地之声―」

野を守老人 梅若長左衛門
鬼神 梅若紀彰
山伏 則久英志
笛 熊本俊太郎
小鼓 幸正昭
大鼓 亀井広忠
太鼓 澤田晃良

成田山新勝寺 光輪閣

住所：〒286-0023千葉県成田市成田1
最寄り駅：成田線成田徒歩10分/京成本線京成成田徒歩10分



平成30年 5月19日(土)

開場：午後5時 開演：午後6時
4,000円 全席自由(団体を除く)

主催 大本山成田山新勝寺 <http://www.naritasan.or.jp>

後援 (一社)成田市観光協会 梅成会